

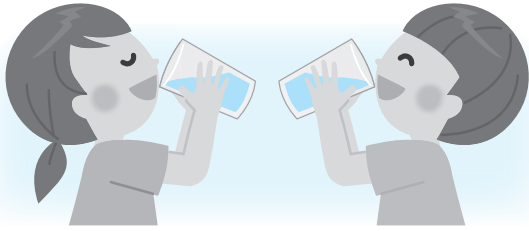
「水道施設再構築基本計画」と「水道管路施設耐震化計画」

平成30年12月に策定

- 水道施設再構築基本計画 現在の施設をそのまま維持すると、供給能力と需要のバランスが崩れる可能性があるため、7つの浄・給水場を3つの浄水場に統廃合します。令和21年度までに3つの浄水場に集約して、維持管理費を抑制し、施設相互間のバックアップ体制を強化していきます。
- 水道管路施設耐震化計画 地震などの災害

時でも水を届けられるように、水道管の耐震化工事を進めていきます。優先順位や費用の平準化を考慮しながら、非耐震管を計画的に更新し、令和42年度の管路耐震化率100%を目標に事業を進めていきます。平成29年度の基幹管路の耐震化率は全国平均39.3%に対し、本市は67%でした。
○詳しくは、市ホームページをご覧ください。

改定します



は最低単価と最高単価の差が8.75倍ありましたが、見直しすることで5.5倍に縮小しました〔表2〕。企業などの多量使用者の負担割合が低くなります〔グラフ2〕。

口径13mmの家庭では、1か月の平均使用量の11㎡を使用した場合、1か月あたり消費税抜きで335円値上がり。契約件数の半数以上を占める口径20mmの家庭では、1か月の平均使用量の18㎡を使用すると250円の値上がりになります。

効率的な経営を続けて 県内で低い料金を維持します

上下水道局では効率的な経営をめざし、業務の外部委託や、水道事業と下水道事業にまたがる業務を集約することで、職員数を昭和51年度の73人から平成30年度には37人まで削減しました。職員数を考慮すると、全国平均に比べ効率的な経営状況になっています〔表3〕。

浄水場などから供給した水量のうち、料金徴

収の対象になる水量である有収水量の割合を示す有収率は、平成29年度では全国平均の89.9%を上回る96.6%でした。100%に近いほど効率が良いとされ、石綿セメント管を計画的に更新したため、水道管からの漏水を抑えられたことなどが理由にあげられます。

水道料金を比較するため、県内の41事業者のうち、水道料金が安い順番に10位まで記載しました。料金改定後は、1か月20㎡使用した場合、口径13mmでは県内で4番目に安く、口径20mmでは6番目に安い金額になります〔表4〕。改定後も県内で低い料金を維持します。

老朽施設の更新が必要に 「拡張」から「改良」の時代へ

昭和42年に給水を開始したとき、市の人口は約4万人でした。当時と比べて現在の人口は5倍近くになり、人口増加に合わせて浄・給水場や水道管の整備を進めてきました。今では水道

管の総延長は約700km、給水普及率は99%を超えています。その一方で、老朽化が進んだ設備や施設の耐震化などの課題に取り組むため「水道施設再構築基本計画」と「水道管路施設耐震化計画」を平成30年12月に策定しました。

人口が減少傾向になる中で、水道事業は「拡張」から「改良」の時代へと変化しています。市では、これから50年先、100年先も安心・安全な水道水を安定して届けていきます。

〔表4〕 県内水道料金比較表 (20㎡/月)

| 口径13mm | | 口径20mm | |
|-----------|--------|-----------|--------|
| 事業者 | 料金 | 事業者 | 料金 |
| A | 2,062円 | A | 2,581円 |
| B | 2,224円 | C | 2,592円 |
| C | 2,268円 | H | 2,710円 |
| 八千代市(新料金) | 2,376円 | F | 2,829円 |
| D | 2,624円 | D | 3,024円 |
| E | 2,640円 | 八千代市(新料金) | 3,045円 |
| F | 2,646円 | B | 3,067円 |
| G | 2,689円 | I | 3,132円 |
| H | 2,710円 | E | 3,190円 |
| I | 2,732円 | G | 3,262円 |

●日本水道協会発行の水道料金表（平成30年12月発行）をもとに作成。平成30年4月1日現在の消費税込みの水道料金。ほかの事業者と比較するため八千代市新料金を消費税8%で算出しています。

〔表3〕 職員に係る経営分析

| 項目 | 算出方法 | 八千代市 | 同規模平均 | 全国平均 | 説明 |
|------------------|--|-----------|---------|---------|----------------------------------|
| 職員の給与と水道料金収入との対比 | 職員の給与÷水道料金収入×100 (2億3,533万円÷29億3,074万円×100) | 8.0% | 12.5% | 11.6% | 水道料金収入に対する職員の給与の割合。割合は低いほど効率が良い。 |
| 職員1人当たりの営業収益の額 | 営業収益÷職員数 (31億870万円÷27人) | 1億1,514万円 | 6,766万円 | 7,019万円 | 職員一人当たりの売上高。生産性を示し、金額は高いほど良い。 |

●平成29年度実績。同規模・全国平均は平成28年度実績（同規模は給水人口15万人から30万人未満の団体）。営業収益は水道料金や工事の検査手数料等の営業活動による収入。職員の給与の額と職員数は、営業活動に係る職員分です。

お問い合わせは上下水道局 給排水相談課 ☎483-6155へ

6月定例会は6月30日(月)開会予定

6月定例会は、6月30日(月)に開会する予定です。会議の日程などは、開会予定日の約1週間前に決定されます。請願・陳情は、開会日の午後5時までに受け付けたものが6月定例会で協議されます。
■インターネット中継 本会議を市ホームページで生中継します。会議の翌日(市の休日を除く)からは、録画映像で見ることが出来ます。詳しくは、議会事務局議事課へお問い合わせください。

条例(案)に対する意見を募集します

「八千代市パブリックコメント手続実施要綱」に基づき、(仮称)八千代市手話言語の理解及び普及並びに障害の特性に応じたコミュニケーション手段に関する条例(案)への意見を募集します。意見を提出できる人は、市内に住所がある人、市内に事務所が事業所がある人、市内に勤務している人、市内の学校に在学している人、当該事業に利害関係を有する人です。意見に対しての個別回答は行いません。
▼募集期間 6月14日(金)必着 ▼公表場所 障害者支援課、法務課情報公開班、支所・連絡所、公民館、図書館、市ホームページ
▼意見の提出方法・送付先 募集期間中に公表する実施要項に記載(障害者支援課)

募集 審議会・協議会の市民委員

いずれも市内在住の成人で本市の審議会等の委員を5つ以上兼ねていない人が対象です。応募書類は非公開で返却しません。
■八千代市個人情報保護制度運営審議会
個人情報保護制度の運営に関することについて、市長の諮問に答申し、その在り方を市長に建議する審議会の委員を募集します。
▼資格 個人情報保護制度に関心を持ち、年に数回程度の平日の会議に出席できる人 ▼募集人数 1人 ▼任期 7月8日(月)から2年間 ▼報酬 会議1回につき7000円 ▼応募方法 6月14日(金)必着で任意のA4用紙に住所・氏名(フリガナ)・電話番号・年齢・性別・主な職歴・応募理由を記入し、「個人情報保護について」と題した800字程度の作文を添えて、〒276-1850-1市役所法務課情報公開班へ持参、郵送または市ホームページ「市民委員の公募」から応募もできます(法務課情報公開班)

■八千代市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定・推進協議会
八千代市地域福祉計画と地域福祉活動計画の策定・推進について、協議などを行います。

▼資格 年に3回程度の平日の会議に出席できる人 ▼募集人数 若干名 ▼任期 7月から3年間 ▼報酬 会議1回につき7000円 ▼応募方法 6月14日(金)必着で任意のA4用紙に住所・氏名(フリガナ)・電話番号・年齢・性別・主な職歴・応募理由を記入し、「身近な地域で福祉のまちづくりを進めるために、私が考えること」と題した800字程度の作文を添えて、